

# 地方創生カレッジのカリキュラムの全体構造イメージ

## 【基本的な考え】

- ・地方創生の深化に向けて、立場や機能に応じた実践的な内容を提供
- ・受講者の担うべき役割・経験、直面したフェーズなどに応じた選択受講が可能
- ・eラーニングを中心に対面・実地での講義・交流機会の提供や各教育機関との連携にも対応

## 【eラーニング分野】

## 【対面・実地】

基盤的知識・スキルを深め、役割・分野に応じて要請される専門性(他分野の知識も含む)を追求

### 分野別プロデューサー

観光・DMO

地域商社

生涯活躍のまち

小さな拠点

⋮

ケーススタディ

### 総合プロデューサー

総合戦略の策定・管理

事業の構築・推進・管理

資金調達の各種手法

地域産業の振興

⋮

ケーススタディ

### 地域コミュニティリーダー

住民自治

交流

⋮

ケーススタディ

専門編

スクーリング/  
ワークショップ

育成人材と地域の  
交流・マッチン  
グを図る

活動内容の情報  
交換を図る

地方創生関連事業を担う人材が基盤として備える必要のある知識、スキル、概念を学ぶ

地域戦略の策定

データ分析

地方の課題解決

事業の自立性・持続  
性確保(資金面含む)

地方創生の  
意義・理念

関係者との対話・調整

官民連携

事業戦略の策定

など

基盤編

基盤編、専門  
編、対面・実  
地を組み合わせ  
ることで、  
コースを設定